

オリガミアンだより

8月の定期練習は予定通り行います

立秋を過ぎればすぐそこに秋。8月はこの季節感を大切にしてテーマを選んでいきます。

◆8月10日（火）

うさぎさんの折り方をメインにたぬき、きつねの復習もやります。

◆8月24日（火）

満月をバックにしたうさぎさんをセット。鬼の顔の復習など

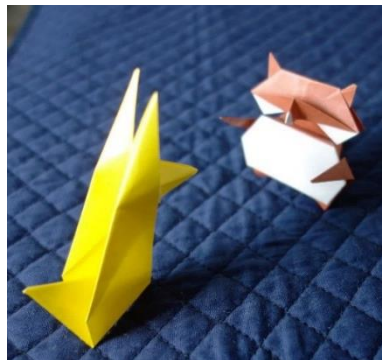
兵庫県にまた「まん延防止等重点措置」が発表されました。これを受け会員の皆様に8月10日と24日の定期練習をどうしたらよいかアンケートを取ったところ、大方の方から「別に教室を閉会にする必要はないのでは」とのお返事をいただきました。

接種もヤマを越しているようですし、感染防止措置を万全にして両日とも開催することにしました。夏休み中でいろいろご多忙と思いますが都合のつく方はぜひ教室を覗いてみてください。



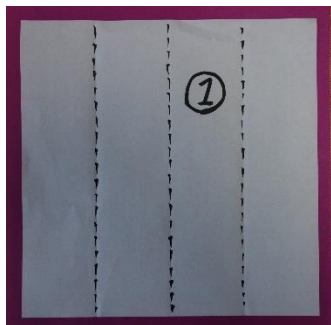
秋の月を見ると

心がワクワクしちゃう



うさぎの折り方

布施 知子さん考案



視覚的に分かりやすくするため、便宜上、色のついた方を表にしていますが、慣れてくればピンクか赤の紙を裏返して使う方がグー。1ヶ月満月をバックにした白うさぎのように耳の内部で色を出すとアピール度が格段に増します



折り線をつけてから戻す



③で四隅を中へ折り込む



上側のみへりを合わせて折り三角をつまんで倒すと尻尾になる



○印をつまみ、折り目ははずして引き上げると⑥に



三角形の部分を両方も下に折る



裏返す。尻尾部分が裏に。点線の部分を3センチほど空けて下に折る



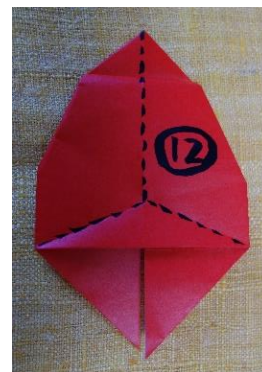
⑨を裏返し点線の部分を折る



ひんぱんに裏返しを繰り返すので常に尻尾の位置に注意。⑩では上に来ている



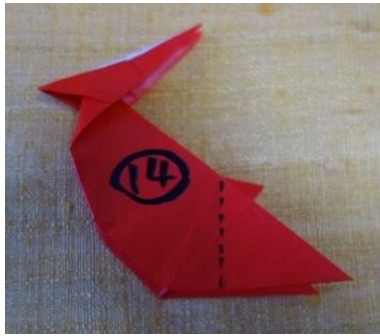
うしろ側は折らずに起こす



裏返し、「点線で囲まれた三角形部分を持ち上げながら縦半分に折る



耳の部分をつまんで持ち上げる



点線を折り後脚部分を作る



尻尾部分を中割り折り。尻尾をもう一度中割れ折り。鼻の部分の中へ折り込む



耳を開く。耳を満月の黄色うさぎのように下へ折り下げてもよい。安定して立たせるには後脚を折る角度で調整する

長田神社でアオバズクのヒナが孵化、すくすく育つ

撮影はいずれも「わ」野鳥と自然観察会代表の堀池邦康氏



折り紙に全く関係ないですが、皆様に涼しさのお裾分け。長田神社で今年もアオバズクのヒナ3羽が孵化、親鳥に見守られながらスクスクと成長、野鳥ファンの目を楽しませてくれました。真ん中の写真は「エンゼル・ポーズ」と言って独り立ちする直前にするポーズで、天使のように見えるでしょう。写真に収まることは珍しいです。

アオバズク一家は秋の渡りに備え、近くの山に移り。採食と飛行の特訓中です

園山俊二さん漫画関連

50号で園山俊二さんの漫画3点をご紹介しましたが、今回はその関連（折り紙に全く関係がない第2弾）で忘れられない4コマ漫画があります。「ギヤートルズ」とか「はじめ人間〇〇」とかいう漫画の中に出てきたストーリーだったと記憶しますが、残念ながら手元にはありません。

ある所に子どもの恐竜が捨てられて泣いていました（人間に飼われていた猫が捨てられた場合は捨て猫というので、この捨て恐竜も誰かに飼われていたのでしょうか。恐竜と人間は全く時代が違うので、あり得ない設定ですが、これが漫画の面白いところです）。

ある人間の子供が「飼ってやりたい」と思い、捨て恐竜の子どもの首にヒモをつけて家まで連れてきました。捨て恐竜の子どももすっかりその気になっています。ところが家（恐らく洞窟）につくと貫禄十分のお母さんが腰に手を当て「うちでは飼えないから元の場所に捨てておいで」とピシリと宣告。これを聞いた子どもはもちろん、捨て恐竜の子どもまでが大粒の涙を流し、すすぐと元の場所に戻っていく——という内容です。何とかもう一度見てみたいものです。皆さんお目に止まったらぜひご連絡ください。